

(株)えがお 海外教育支援事業 子どもたちの健やかな成長のために
ミャンマー連邦共和国 メリー・コーン村の
就学前教育センターを建設

株式会社えがお（代表取締役社長：北野忠男/所在地：熊本市東区東町4-10-1）は、子どもたちの健やかな成長を支援する社会貢献事業として、国際NGOワールド・ビジョン・ジャパンを通じ、ミャンマー連邦共和国において就学前教育センターとして学校の校舎1棟を建設しました。



目的 えがおは、「すべての人々に健康と笑顔を創造し、しあわせな社会創りへ貢献する」ことをミッションに掲げております。海外教育支援は、支援が届きにくい開発途上国における子どもたちの教育環境を改善することで、心身ともに健やかな生活を送る一助になればとの思いから始めたもので、タイ チェンライ県、ベトナム イエンバイ省に次いで3校目となります。

支援学校 ミャンマー連邦は、東南アジア地域では最大の面積を誇り、人口約5,028万人を擁します。今回の支援対象地区であるタウバン群区は、ミャンマー連邦の南西部にあり、ここは商業の中心地、かつての首都であるヤンゴンから南西に約224キロ離れ、車で約6時間のところに位置しています。遠くまで通わせる経済的余裕がないことから、村の学校は小学校から高校まで一貫教育施設となっていますが、村民の教育に対する意識は高く、現在では就学前教育を受けられるセンターも出来ています。しかし、しかし、残念ながら現在の施設では望ましいとされる教育施設の基準を満たしていないため、今回新たに就学前教育センターの建設および備品の提供、水衛生施設の設置を行いました。

建設完了後に現地で行われたセレモニーには、村の子どもたちと保護者をはじめ約330名の住民が集まり、就学前教育センターの完成を祝いました。弊社からは、完成を記念した壁掛け時計と「お金や財産はいつか無くなりますが、教育はずっと残ります。教育があれば失った物も取り戻すことができます。この校舎で仲良く勉強して、たくさん親孝行をしてください。皆さんは国の未来です。たくさんの方の笑顔と力強い国を作ってくれることを心から祈っています」とメッセージを送りました。

■ 建て替え前の校舎



建て替え前は、建物の周りは竹と藁で作られ、雨風が吹き込むような状況

■ 新校舎



光の差し込む明るい室内と屋根付きの運動場で遊ぶ子どもたち

■ セレモニーの様子



写真：国際 NGO ワールド・ビジョン・ジャパン提供